



北方領土

福島県民会議通信

平成30年9月(第8号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

平成30年度総会及び講演会の開催【平成30年6月14日】

福島市の杉妻会館で平成30年度総会を開催し、平成29年度の事業報告及び収支決算、平成30年度の事業計画及び収支決算について承認されました。

総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、前北方領土問題対策協会推進委員の工藤信行氏が決議文を読み上げ、政府に対し、平和条約の早期締結に向けて更なる外交努力を尽くすよう求めると共に、県民会議として、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくことを満場一致で採択しました。

また、総会に引き続き、(独)北方領土問題対策協会 業務グループ専門官 林一茂氏をお招きし、「北方領土問題の経緯と現況」と題した講演会を実施しました。講演では、日露関係の最近の動きや北方領土の現況について、写真等を用いた分かりやすい解説があり、参加者からは「北方領土返還を求める運動が大切なことが分かった。このような運動をしていることを周りの人にも話していきたい。」「返還要求に向けての対策等の内容を知ることによって、より進んだ啓発活動が可能になる。」等の感想が寄せられました。



小林会長あいさつ



(独)北方領土問題対策協会 林氏による講演

北方領土青少年等現地視察事業【平成30年7月27日～30日】

福島県民会議の主催により、20名(中学1年生9名、中学2年生4名、中学3年生1名、引率教員4名、福島民友新聞記者1名、事務局1名)の視察団を組織して、3泊4日で実施しました。

本事業は、主に青少年等を構成員とした視察団を北方領土隣接地域に派遣して視察等を実施することにより、参加者に北方領土問題を身近な問題として捉えてもらい、返還要求運動を継承してもらうことを目的とするもので、本県民会議の実施は4年目となりました。

視察団一行は、北方領土隣接地域(根室市、別海町、標津町、中標津町)を訪問し、北方領土(歯舞群島・国後島)の望見、啓発施設の見学、北方領土の語り部である元島民(色丹島出身 得能 宏氏)の講話聴講などを通して、北方領土問題への理解を深めました。

このほか、視察中にはポー川史跡自然公園で会津と標津地域の関わりについての歴史授業を受講しました。幕末、北方警備のために現在の標津町に派遣された会津藩士たちが、豊富な水産・木材資源に着目し、開拓に寄与したことや、アイヌの人々への教育に力を入れていたことなどの説明を受けました。また、北辺防衛会津藩士顕彰碑にも立ち寄り、参加者全員で手を合わせ、当時に思いを馳せました。

参加生徒からは、「私達にできることは、北方領土について若い世代に訴えることです。」「日本人とロシア人の双方が、自分たちの故郷で暮らしていける方法はないものか。」等の感想が寄せられました。今後の日本を担う若い世代が、返還要求運動を継承していくことが期待されます。

(写真提供:福島民友新聞社)



北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)での説明員による案内



国後島



元島民 得能 宏さんの講話



北方領土返還記念シンボル像 四島(しま)のかけ橋

北海道・東北ブロック連絡協議会【平成30年8月6日】

この会議は、北方領土返還要求運動の推進を図るため、北海道・東北各県の担当者らが一堂に会し、情報の共有や今後の課題等について協議を行うものです。今年度は秋田県北方領土返還促進協議会が主管となり、秋田市内で開催されました。

会議では、各道県民会議から本年度の重点事業について報告があった後、教育者会議における道県民会議の役割等について意見交換をするなど、活発な議論が交わされました。

また、(独)北方領土問題対策協会の担当者からは、元島民の航空機特別墓参の実施状況等の最新の情勢について報告がありました。



ブロック連絡協議会集合写真

(写真提供:秋田県北方領土返還促進協議会)

北方領土青少年交流のつどい【平成30年8月6日～7日】

本事業は、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年の北方領土問題に関する正しい知識の習得を目的として実施するものです。ブロック協議会と同様、今年度は秋田県北方領土返還促進協議会が主管となって秋田市内で開催され、本県からは、鮫川村の中学校から中学3年生2名と引率教員1名が参加しました。

参加者は、秋田県北方領土研究教育者会議の副会長(秋田県能代市立能代東中学校 教頭)の菊地 天 氏による「北方領土」事前学習を受けた後、元島民(択捉島出身)の伊藤 光作 氏から当時の体験談などを聴きました。2日目の視察研修では、男鹿なまはげ伝承館を訪問し、館の見学やなまはげの実演体験を行った他、寒風山展望台で八郎瀧干拓地等を展望しました。



北方領土返還に願いを込めた短冊作り

(写真提供:秋田県北方領土返還促進協議会)

北方領土返還運動全国強調月間【平成30年8月】

8月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、全国で講演会やパネル展などの行事の開催、各種媒体による広報が実施され、積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、北方領土返還に関する県民意識の高揚を図るため、路線バス(福島市及び郡山市内)のバスフロントマスクによる啓発広告を実施し、また、県内の市町村長に住民に対する啓発を依頼するなど、運動への理解と参加を広く呼びかけました。

北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会【平成30年8月7日～10日】

(独)北方領土問題対策協会の主催により、全国の中学生及び社会科担当教諭等に北方領土問題に理解と関心を深めてもらい、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として、根室市内で開催されました。本県からは教育指導者として、本宮市の中学校から社会科担当教諭1名が参加しました。

研修会では、地元高校生による出前講座及び元島民の体験談の聴講、啓発施設の見学が行われました。また、研修の成果を踏まえて中学生は「北方領土壁新聞」の作成と発表、社会科担当教諭は「北方領土授業構成案づくり」を実践し、2日間の研修を終えました。

(写真提供: (独)北方領土問題対策協会)



研修の様子



授業構成案の発表

北方領土返還要求北海道・東北国民大会【平成30年8月24日】

本大会は、北方四島の早期返還実現を求めて外交交渉を強力に支援するとともに、粘り強く返還要求運動を推進し、国民世論の結集を図るもので、札幌市内で開催されました。

大会では、北海道と東北6県の関係機関、団体より約600名が参加し、日露共同経済活動について領土返還に結びつく協議や四島の一括返還に向けた交渉を政府に要望する決議を採択しました。本県民会議の小林会長は副大会長を務めました。



代表知事(山形県)あいさつ

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (福島県総務部県民広聴室内)

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」